



# CHAPTER 1

## Application Networking Manager 2.2 のインストールの準備

この章では、ANM 2.2 のインストールまたはアップグレードを実行するうえで、知っておく必要があることと、必要な手順について説明します。この章の構成は、次のとおりです。

- 「ANM の概要」 (P.1-1)
- 「サーバ要件」 (P.1-3)
- 「クライアント要件」 (P.1-5)
- 「root ユーザになる」 (P.1-5)

ハードウェア要件および Cisco IOS の要件の詳細については、[Cisco.com](#) の『*Supported Devices Table for the Application Networking Manager 2.1 and 2.2*』を参照してください。

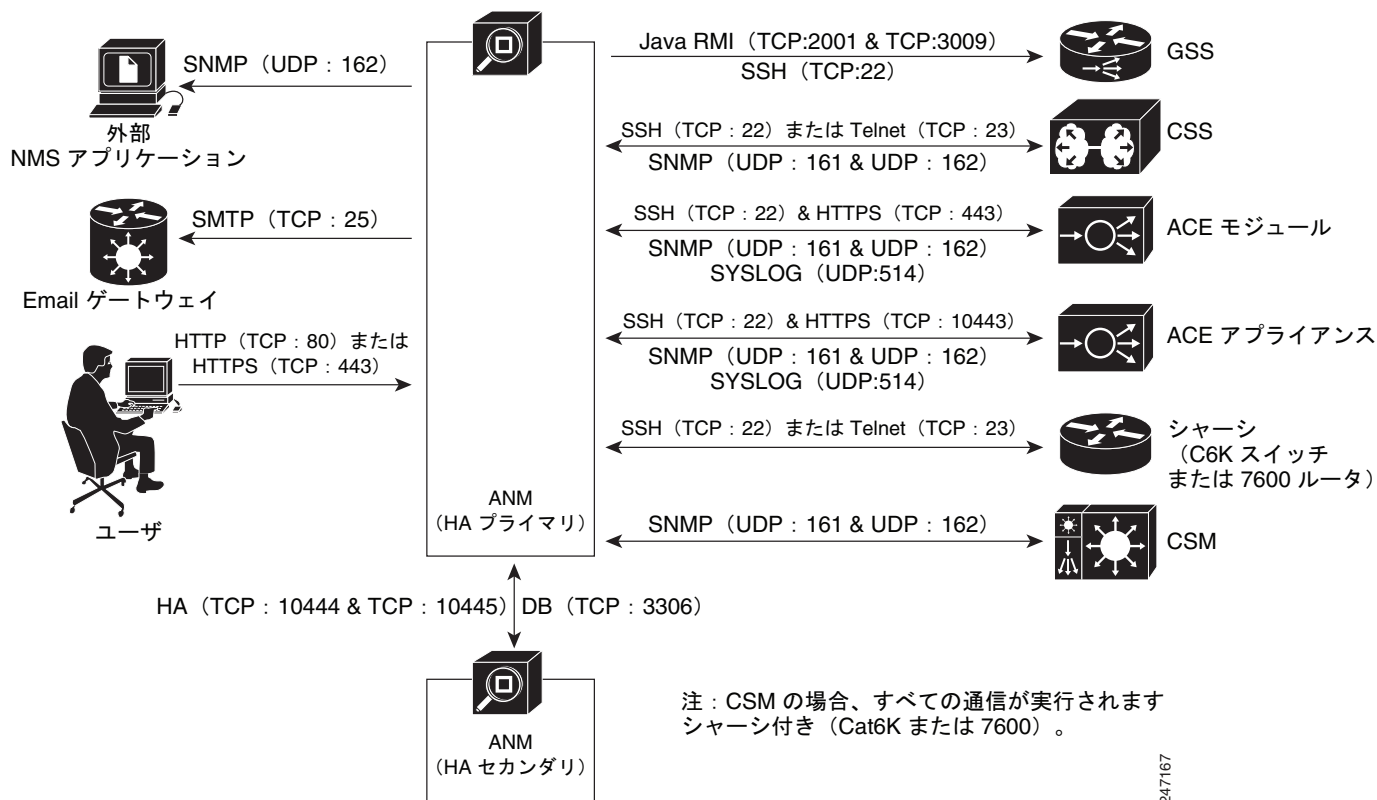
### ANM の概要

ANM は、次の機能のすべてを実行することを可能にするクライアント/サーバアプリケーションです。

- データセンターデバイスの設定、監視、およびトラブルシューティング。
- 操作、アプリケーションオーナー、およびサーバ管理スタッフが、ネットワーク設定やトポロジの変更に関する知識や技術なしに、ネットワークベースのサービスをアクティブにしたり一時的に停止したりするためのポリシーの作成。
- Application Control Engine (ACE) モジュール、ACE アプライアンス、Catalyst 6500 シリーズシャーシ、Catalyst 6500 Virtual Switching System (VSS) 1440、および Cisco 7600 シリーズルータの管理。
- CSS、CSM、および CSM-S の実および仮想サーバのアクティベーション/一時停止の許可。
- VIP 回答および DNS ルールのアクティベーション/一時停止の許可。

サーバは、Linux マシン上で実行され、マシンには Red Hat Enterprise Linux をインストールする必要があります。クライアントは、サポートされているバージョンの Internet Explorer または Firefox Web ブラウザ上で実行されます。ANM サーバのペアを、ハイ アベイラビリティ モードで実行されるように設定できます。ANM サーバの配置を 図 1-1 に示します。

図 1-1 ANM サーバの配置



## サーバ要件

ANM をインストールできるのは、Red Hat Enterprise Linux サーバ (RHEL) 上だけです。このリリースに必要なバージョンは、Red Hat Enterprise Linux 5 (ベース サーバ) アップデート 2 (5.2) 32 ビット サーバ エディション (Linux 2.6 カーネル) です。

ANM のインストール中に、MySQL (Sun の RDBMS) が自動的にインストールされます。システムに、ANM によって使用されるものとは異なるバージョンの MySQL が存在する場合、インストール中に、ANM によって使用されるバージョンに置き換えられます。



### ヒント

初めて RHEL をインストールする場合にインストールの失敗または非互換を回避する方法については、「[Red Hat オペレーティング システムのインストールのヒント](#)」(P.A-1) を参照してください。

ANM 2.1 (1)、ANM 2.1、または ANM 2.0 から ANM 2.2 へとアップグレードするには、RHEL の次のバージョンのいずれかをインストールする必要があります。

- Red Hat Enterprise Linux 4 (ベース サーバ) アップデート 2 (4.2) 32 ビット サーバ エディション (Linux 2.6 カーネル)
- Red Hat Enterprise Linux 4 (ベース サーバ) アップデート 5 (4.5) 32 ビット サーバ エディション (Linux 2.6 カーネル)
- Red Hat Enterprise Linux 5 (ベース サーバ) アップデート 2 (5.2) 32 ビット サーバ エディション (Linux 2.6 カーネル)



### (注)

ANM 1.2 から ANM 2.2 へのアップグレードでは、ANM 2.2 へのアップグレードを実行する前に ANM 2.0 b への中間アップグレードが必要です。このアップデート シーケンスは、RHEL のアップグレードを義務付けるものではなく、RHEL 4.x を使用し続けることは可能です。ただし、Red Hat Enterprise Linux 5 (ベース サーバ) アップデート 2 (5.2) 32 ビット サーバ エディションに移行することをお勧めします。ANM 1.2 から ANM 2.2 へのアップグレード パスは次のとおりです。

1. ANM 1.2 データをバックアップします (『*User Guide for Application Networking Manager 1.2*』を参照)。
2. ANM 1.2 のバックアップを使用して ANM 2.0 にアップグレードします (『*Installation Guide for Application Networking Manager 2.0*』を参照)。
3. ANM 2.0 データをバックアップします (『*User Guide for Application Networking Manager 2.0*』を参照)。
4. ANM 2.0 のバックアップを使用して ANM 2.2 にアップグレードします (本マニュアルを参照)。

ご使用のサーバは、次の最小限の要件も満たす必要があります。



(注) ANM のインストールに、外部ソフトウェアやライブラリは不要です。

- 最低 2 GB の Random Access Memory (RAM; メモリ)。最適なパフォーマンスを得るには、最低 4 GB のメモリを備えることを推奨します。

- 最低 120-GB のハード ドライブ。
- ANM コンポーネントのディスク容量要件を表 1-1 に示します。



(注) ANM は、複数のパーティションにまたがる可能性があるため、ディスク要件はディレクトリ単位で記載しています。指定したディレクトリが置かれているパーティションには、最低でも表 1-1 に示した、指定された空き容量が必要です。

表 1-1 ANM のディスク容量要件

ディレクトリ	ディスク要件
/opt/CSCOanm	2 GB
/var/lib/anm	45 GB

- 3-GHz Pentium III CPU またはその同等物（デュアル プロセッサがサポートされている。アプリケーションはマルチスレッド化されているが、パフォーマンス/キャパシティの増加は指定されていない）
- CD-ROM ドライブ
- 1 つの ANM の設定ごとに 100 Mbps イーサネット インターフェイス
- Product Authorization Key (PAK) を使用したインストール後にマシンにダウンロード可能なアクティブまたはプライマリ サーバごとの 1 つ ANM のサーバ ライセンス

フォルトトレラントな High Availability (HA; ハイ アベイラビリティ) を使用して ANM をインストールする場合、次のものがが必要です。

- 2 つの全二重方式 100 Mbps イーサネット インターフェイス
- 固有のホスト名を持つ 2 つのホスト
- 同一のサブネット上で設定された 2 つのホストのプライマリ IP アドレス (必須)
- 同一のサブネット上で設定された 2 つのホストのセカンダリ IP アドレス (ハートビートとして使用されます) (必須)
- スタンバイまたはバックアップ サーバごとの追加 ANM サーバ ライセンス



(注) ハイ アベイラビリティ機能の詳細については、『*User Guide for the Cisco Application Networking Manager 2.2*』の「[Configuring ANM High Availability](#)」の章を参照してください。

## クライアント要件

ANM が実行されている各クライアントは、次の最小限の要件を満たす必要があります。

- 2 GHz 以上の Pentium プロセッサを備えた IBM 互換コンピュータ
- 最低 1 GB メモリ

クライアントでは、次のいずれかのオペレーティング システムが実行される必要があります。

- Windows XP Professional サービス パック 2 および 3
- Windows Vista サービス パック 1
- Red Hat Enterprise Linux 5 (ベース サーバ) または Red Hat Enterprise Linux AS 4

クライアントには、次のいずれかのブラウザが必要です。

- Windows XP または Windows Vista 上で稼動する Microsoft Internet Explorer 6.0 または 7.0 サービス パック 2
- Windows XP、Windows 2000、Red Hat Enterprise Linux 5 (ベース サーバ) または Red Hat Enterprise Linux AS 4 上で稼動する Firefox 2.0



(注)

すべてのブラウザで、cookie、JavaScript/スクリプト、およびポップアップ ウィンドウをイネーブルにする必要があります。後の ANM リリースを再インストールする場合、必ず cookie を削除し、ブラウザ キャッシュをクリアしてください。

## root ユーザになる

ANM をインストールするには、ANM をインストールしたいシステムに root ユーザとしてログインする必要があります。



注意

root ユーザになると、自分が使用するコマンドの効果を知らない場合、動作環境に悪影響を与えてしまう可能性があります。Linux を使用した経験が比較的少ないユーザの場合、root ユーザとして行う操作を、このマニュアルで説明したタスクに限定してください。

Linux コマンドラインからプロンプトに次を入力して、root ユーザとしてログインします。

```
> login: root
```

```
> Password: root-password
```

すでにログインしているが、root ユーザでない場合、su コマンドを使用して、ログインを root に変更します。

```
# su
```

```
# Password: root-password
```

■ root ユーザになる